

第14回 LCV「諏訪圏情報BOX」

- **放送日** 令和6年3月5日(火)、12日(火)
- **テーマ** 春の山火事予防運動について
- **出演者** 諏訪地域振興局林務課 西川 優弥

○ 聞き手とのやりとり(概要)

(Q1)「春の山火事予防運動」とはどのようなものなのでしょうか？

(A1) 冬から春にかけては、空気が乾燥して風が強い日が多いため、山火事が発生しやすい季節となっています。全国で見ると、山火事の約7割が1月から5月に発生しています。

また、これからの季節はだんだん暖かくなってきますので、山へ出かける人や農作業をする人が増えることにより、山火事が発生する恐れが高くなります。

そこで長野県では、市町村や消防関係者とともに、3月1日から5月31日までの3カ月間を「春の山火事予防運動」実施期間として、広報活動等により注意を呼び掛けることとしています。

(Q2) 具体的にはどのような活動を実施するのでしょうか？

(A2) 広報活動としては、ラジオ等のメディアを活用した啓発や、ポスターなどの掲示、チラシの配布などをおこないます。

そのほかにも、山火事の発生する恐れが高い時期(長期間雨が降っていない日)や、風が強い日などは、随時、地域振興局や市町村等で広報、パトロールをおこなう予定です。

(Q3) 標語もあるとのことですが？

(A3) 「春の山火事予防運動」は全国的におこなわれるもので、全国の統一標語が決められています。今年の標語は「**忘れない 山の恵みと 火の始末**」です。山に入るときや火を使うときに思い出していただけると幸いです。

(Q4) ところで、こうした山火事はどれくらい発生しているのでしょうか？

(A4) 諏訪管内では、令和4年に2件、令和5年には3件の山火事が発生しています。いずれの火災も、冬から春にかけて発生しています。

昨年ですと特に、5月に発生した霧ヶ峰の大規模な火災を覚えていらっしゃる方も多いかと思えます。

(Q5) 山火事はどのような原因で起きるのでしょうか？

(A5) 山火事の多くは人間の不注意が原因となっており、雷などの自然現象が原因となることは稀だと言われています。

原因として最も多いものは「たき火の延焼」です。レクリエーションや農作業の準備で火をおこすことがあるかと思いますが、屋外で火を使う場合は、ちょっとした不注意が山火事につながる可能性がありますので、十分な注意が必要です。

(Q6) 山火事を起こさないためには、どんなことに注意すればよいでしょうか？

(A6) やはり一番は、屋外で火を使わないことです。特に、雨が少なく乾燥が進んだ場合や風が強いときなどは、屋外での火の使用はできる限り避けていただきたいと思えます。

やむを得ず火を使う場合には、必ず消火用の水を用意したうえで、最後に完全に消化したことを確認してください。

また、屋外でタバコを吸うときにも注意が必要です。火のついたままのタバコはもちろんですが、タバコの吸い殻を投げ捨てることは絶対にやめていただくようお願いします。

(Q7) もしも山火事が発生してしまったら、どうすればよいでしょうか。

(A7) 春の屋外では光の加減で火が見えづらく、知らない間に飛び火することがあり大変危険です。火災が発生してしまった場合は、決して一人で消そうとせず、すぐに消防署へ通報してください。

自分で消そうとすると、火に巻かれたり煙を吸ったりして重大な事故につながる恐れがありますので、早めに避難することが大切です。

(「**忘れない 山の恵みと 火の始末**」ありがとうございました。)